

令和2年度（2020年度）
吹田市立図書館点検・評価報告書

令和4年（2022年）2月1日

吹 田 市 立 図 書 館

この点検・評価報告書は、図書館法(昭和25年4月30日法律第118号)第7条の3に基づき、吹田市立図書館の運営の状況について自己評価を行うとともに、図書館協議会による外部評価をいただいて作成し公表するものです。

吹田市立図書館は、「吹田市立図書館基本構想」(平成25年4月策定)を策定し、平成25年度(2013年度)から10年間の図書館活動の指針を明らかにしています。その第2章3のサービス計画の中で3つの基本目標を設定しています。この基本目標に沿って作成したアクションプラン(別表)の課題と各事業について自己評価と外部評価を行います。

吹田市立図書館の3つの基本目標

基本目標 1 地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

基本目標 2 生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

基本目標 3 子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。

評価の基準

- A 取組を実施し、目標を上回る成果があった。
- B 取組を実施し、目標には達していないが一定の成果をあげた。
- C 取組を実施したが、十分な成果をあげることができなかった。
- D 実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。

この基本目標とその取組みごとに、図書館の自己評価をするとともに、図書館協議会より外部評価を得るものとします。

〔凡例〕

※文中、表に示している図書館名は次のように省略しています。

中央図書館→「中央」、千里図書館→「千里」、千里図書館北千里分室→「北千里(分)」、さんくす図書館→「さんくす」、江坂図書館→「江坂」、千里山・佐井寺図書館→「千・佐」、千里丘図書館→「千里丘」、健都ライブラリー→「健都」、山田駅前図書館→「山田駅前」、山田駅前図書館山田分室→「山田(分)」、自動車文庫→「BM」

基本目標 1

地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。

取組1 図書館施設及びサービス網の整備

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R 元	R2
中央図書館の再整備	令和 2 年度秋 リニューアル開 館	実施	改修工事に着 手	令和 3 年(2021 年) 1 月 12 日リニューア ル開館
サービス網の整備	健都ライブラリ ーの整備	実施	建設工事に着 手	令和 2 年(2020 年) 11 月 11 日供用開始
	北千里小学校跡 地複合施設整備 事業	実施	基本計画、基本 設計の完了	実施設計の完了、建 設工事請負契約の締 結
広域利用の促進	広域利用してい る吹田市民の数 (北摂 7 市 3 町)	延利用者数増	25,352 人	19,543 人 (前年度比 77%)
	広域利用してい る吹田市民の数 (大阪市・試行)	延利用者数増	11,029 人	9,990 人 (前年度比 90.5%)

(参考) 広域利用している他市市民の数(北摂 7 市 3 町)

延利用者数	実績	
	H31/R 元	R2
	13,818 人	6,581 人 (前年度比 47.8%)

取組に対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

- [成果1]中央図書館の耐震化に伴う改修工事を完了し、令和3年(2021年)1月12日にリニューアル開館しました。当初は、令和2年(2020年)11月に再開館予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避けた準備作業を行う必要があったことや臨時休館の影響により、約2か月遅れとなりました。
- この度の改修工事により、施設のバリアフリー化を実施できました。また、工事に伴う休館中、予約資料の受け渡し等は、令和2年(2020年)12月16日までは近接の総合福祉会館に設けた臨時窓口にて実施し、同年12月18日以降は、改修後の中央図書館にて実施し、サービスの休止期間を最小限に抑えるよう努めました。
- [成果2]北大阪健康医療都市内での健都ライブラリーについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により工期が延長されましたが、開館準備作業を工夫し、予定どおり令和2年(2020年)11月11日に供用開始することができました。
- 同館で展示した0系新幹線の影響もあり、従来の図書館利用者だけでなく幅広い市民にご来館いただき、多くの取材も受けました。
- [成果3]北千里小学校跡地複合施設整備事業については、実施設計を完了し、建設工事請負契約を締結しました。令和4年(2022年)7月に工事を完了し、11月に供用開始を予定しています。
- [課題] 北摂7市3町広域利用については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各図書館ともサービスを制限して開館していた影響により、大幅に利用者数が減少しました。

【図書館協議会の評価】



- ・健都ライブラリーの開館や中央図書館の改修工事については大変よかったです。自動車の文庫が更新できないと決まったことについては、いろんな可能性がまだ考えられたのではないかと残念です。今後の後継サービスの展開に期待します。
- ・「健都ライブラリー」が完成し、その施設を色々見学できたこと、また改装された「中央図書館」についても色々な改装事例を見せていただきました。「開かれた図書館」感が満載でした。
- ・北千里の図書館に対する住民の期待は大きいです。情報はホームページだけでなく地元住民に直接伝える場があると、双方向でよい図書館になっていくと思います。

取組2 利用促進

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R 元	R2
年間貸出冊数の目標達成(個人貸出)	貸出点数	4,080,000 点	3,238,042 点	2,504,847 点 (前年度比 77.3%)
広報・情報発信機能の推進	ホームページアクセス推移 (蔵書検索)	経年比増	6,403,399 件	6,914,676 件 (前年度比 107.9%)
	SNS(※)投稿件数 (Facebook)	経年比増	313 件	99 件 (前年度比 31.6%)
	SNS投稿件数 (Twitter)	経年比増	806 件	822 件 (前年度比 101.9%)
	メールマガジン送信件数	経年比増	59,393 件	63,278 件 (前年度比 106.5%)
	新着案内送信件数	経年比増	13,341 件	11,832 件 (前年度比 88.6%)

(※)SNS:ソーシャルメディアネットワーキングサービス

(参考)利用者数 ※年度内に1回以上利用した登録者数。

利用者数	実績	
	H31/R 元	R2 年度
	64,837 人	52,537 人(前年度比 81.0%)

予約受付件数

予約受付件数 (内 WEB)	実績	
	H31/R 元	R2 年度
	1,091,150 件 (868,548 件)	1,130,473 件 (前年度比 103.6%) (974,507 件)(前年度比 112.2%)

一日平均貸出冊数

H31/R	中央	BM	千里	北千里(分)	さんくす	江坂	千・佐	千里丘	山田駅前	山田(分)
図書	328	295	1,545	649	1,086	1,270	1,571	1,283	1,206	728
視聴覚	17	2	141	22	112	113	120	83	125	16

※中央図書館は臨時窓口での貸出冊数

R2	中央	BM	千里	北千里(分)	さんくす	江坂	千・佐	千里丘	健都	山田駅前	山田(分)
図書	394	311	1,118	565	694	1,013	1,204	912	692	894	537
視聴覚	21	2	91	20	67	74	79	59	52	81	15

※中央図書館は令和2年12月16日までは臨時窓口での貸出冊数
健都ライブラリーは令和2年11月11日供用開始以降の貸出冊数

取組に対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

[成果1]新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館やサービスの制限が続いた影響で貸出冊数は前年度に比べ大幅に減少しましたが、予約の受付件数は、前年度比103.6%と増加しました。なかでも予約受付件数の内 Web からの予約の占める割合は、令和元年度が79.6%だったのに対し、令和2年度は86.2%と6.6%増えています。非来館でのサービスの一環として、より一層の利用促進を図ります。

[成果2]メールマガジンの送信件数が前年度比106.5%と増加しました。コロナ禍でサービスの制限が続いた中、メールマガジンを通じて図書館や資料に関する情報収集の需要が高まったものと考えます。引き続き魅力ある内容の発信に努めます。なお、フェイスブックについては、図書館で実施した行事の報告を主な内容として情報発信を行っているため、前年度比31.6%と大幅に減少しています。

- [課題1]長引くコロナ禍の中、非来館型サービスとして、令和 3 年度から電子図書の提供を開始します。新型コロナウイルス感染拡大防止に加え、個々の事情により来館が難しい市民へのサービス提供が可能となることから、今後、従来の紙媒体資料に加え、新たな生涯学習のツールとして電子図書の収集を進めます。
- [課題2]広報・情報発信機能の推進については、図書館ホームページや SNS を活用し、積極的に発信を行ってきましたが、今後は、発信件数等数値だけでなく、その効果を測る指標の在り方、また、新たなツールの活用も含めた発信方法の研究が課題と考えています。

【図書館協議会の評価】



- ・SNS のフォロワー数など年代別の利用を把握すれば、重点的に強化するべき点が見えてきて利用促進に繋がるのではないかと。情報発信として記事をアップしても誰も見ていないのでは意味がないので検討してほしい。
- ・SNS の効果指標は、SNS で何をするかを明確にすればおのずと見えてくると思うので検討してほしい。
- ・これからも図書館のホームページへのアクセスは増えると思います。お仕着せではなく、情報一杯の楽しく拝見できるホームページを期待します。
- ・予約受付はコロナ禍に関係なくこれからも増えていくと思うので、頑張ってください。
- ・このコロナ禍の中で、図書館での閲覧ができない事態が続きましたが、ネットでの予約で読みたい本が受け取れたことは大きな慰めでした。しかし一方でネット設備がない、またはネットなど触ったこともない方々はどのようにおられるのだろうかと思いました。図書館が開くまでじっと我慢をしなければならないのでしょうか。
- ・電子図書の導入については、休館した際や図書館を利用する時間がない市民への対応としては、進めていくべきだと思います。ただ、コロナ禍で予約件数が増えており、リアルな本の読書も求められていると思います。吹田市の資料費の水準はもともと高くないと思うので、今後とも増額に努めてください。

取組3 資料と情報の提供

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R元	R2
成人サービス	講演会等行事参加人数	1,200人	2,941人	599人 (前年度比 22.3%)
レファレンス(相談業務)	調査回答件数	経年比増	12,623件	6,669件 (前年度比 52.8%)
地域資料の収集・保存と活用	新聞等地域件名データ新規作成件数	—	754件	1,166件 (前年度比 105.4%)
行政支援サービス	相談受付件数	経年比増	15件	5件 (前年度比 33.3%)
児童サービス	行事参加人数	20,000人	9,691人	1,376人 (前年度比 14.2%)
	冊子発行部数	13,000部	17,449部	17,589部(※1)
YAサービス	YAサポーター行事参加人数	40人	42人	—(※2)

(※1)学校配付分は、児童・生徒数によるため前年度比は算出せず。

(※2)YA サポーターについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施なし。

取組に対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

B

[成果]行政支援サービスの関連として、市役所内他部署と連携して、「認知症」(高齢福祉室)、「地球温暖化」(環境政策室)、「自殺防止」(地域保健課)等に関して主に特設コーナーの設置を実施しました。今後も図書館の情報資源を活用して他部署との連携の取り組みを進めます。

[課題1]新型コロナウイルス感染症拡大防止によるサービスの制限により、レファレンスの受付件数は大幅に減少しました。e レファレンス(Web からのレファレンス受付)に

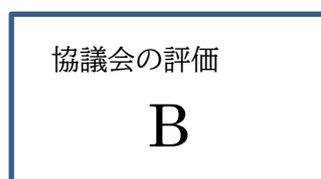
ついて、図書館ホームページでのPRを行いました。今後もレファレンス回答のスキルを高め、より一層の利用促進を図ります。

[課題2] 行政支援サービスについて、相談受付件数が前年度より大幅に減少しました。

資料の貸出だけでなく、図書館の機能の認知度を高めることが継続した課題です。

[課題3] 前年度からの継続企画として「わいわいブックトーク」の動画を作成、公開しましたが、それに続く企画の取り組みには至りませんでした。また、講座等の行事についても、新型コロナウイルス感染防止のため、開催中止が相次ぎました。オンラインや動画配信での実施が継続した課題となっています。

【図書館協議会の評価】



- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による休館やサービス休止がある項目について、前年度比を出しても、数字としてはあまり意味がないと思います。コロナウイルスの影響がない、あるいは軽微なものとはコロナの影響が重大なものがあるはずなので、何らかの形で区別して記載するべきではないでしょうか。
- ・「わいわいブックトーク」に続き動画配信等オンライン企画が続かなかったのが残念です。
- ・動画配信やSNSを活用した情報発信について、ただ単に図書館の伝達事項というのではなく、見て楽しい動画だったら広がっていきます。図書館の枠を超えているかもしれないが学校はじめ地域の行事などの情報も発信していくとよいと思います。
- ・楽しいというところとインターネットメディアとは親和性があります。従来の考え方だと図書館の枠というのは決まっているけれど、プライバシーに配慮したうえで地域の情報を発信していくことは、図書館としての役割があると思います。海外の図書館のYouTube動画は作りこまれていて楽しいです。すぐに日本でできるものではないかもしれないが、方向性などは参考にして、今後、情報発信、情報提供について充実してほしいと思います。

基本目標 2

生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。

取組1 施設や地域との連携

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R 元	R2
吹田市出前講座の充実と活用	出前講座等講師派遣実施回数	6回	20回	-(※)

(※)出前講座等講師派遣等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし。

取組に対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

(D) ※

※評価については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいため、仮評価として括弧付きとしました。

[課題]出前講座等講師派遣等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まなびの支援課実施の「吹田市出前講座」が全面中止となりました。

しかしながら、先に申込受付はしていたものの新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったものや実施に向けての相談、問合せは複数受けていました。講師派遣サービスの講師派遣が実施可能になりましたら、積極的に対応していきます。あわせて、対面での開催ができなかった場合の代替策として、オンラインでの開催や動画の配信等新たな実施方法の検討が継続した課題となっています。

(参考)申込受付したが、中止になった出前講座等4件。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

(C) ※

※評価については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいため、仮評価として括弧付きとしました。

- ・アンテナを高くして、今一番求められている事柄は何か察知して、それに関する情報をいち早く提供できる図書を揃えてほしいです。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で出前講座等を開催できなかったとしても、リモートセミナーなど代替的な措置の検討はすべきだったと思います。

取組2 自己実現の援助

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R元	R2
ボランティア活動の推進	ボランティア総数	865人	619人	592人 (前年度比95.6%)

※目標値は令和4年度に1,000名登録を目標に、年45名増を目指しています。

※ボランティア登録状況 25団体 592人(令和元年度 25団体 619人)

(参考)「図書館フレンズ」登録者数

実績	
H31/R元	R2年度
57人	58人 (前年度比101.8%)

取組に対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価 (C)※

※評価については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいため、仮評価として括弧付きとしました。

[成果] 個人登録のボランティア「図書館フレンズ」については、前年度と同様の人数の方に登録していただき、新型コロナウイルス感染状況を見ながらではありましたが、イベント補助、館内装飾等の活動をしていただきました。

[課題1] 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施予定だったボランティア養成講座は実技中心のため、オンラインに切り替えることは難しく中止となりました。実技中心の養成講座の在り方が課題です。

[課題2] 図書館における「自己実現」について、ボランティア登録人数以外の評価指標を探ることが引き続き課題です。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

(C)※

※評価については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいため、仮評価として括弧付きとしました。

- ・ボランティア養成講座はできなかったとして、他に何か代替措置の検討はできなかったのかと思います。
- ・コロナ禍において、実技中心のボランティア養成講座が実施できなかったのは当然のことだと思います。評価だけが残り、コロナ禍であったことが忘れられてしまうことがないようにしてください。

取組3 図書館利用に障がいのある人へのサービスの充実

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R元	R2
視覚障がい者サービス	対面朗読実施回数	—	720回	77回 (前年度比10.6%)
	録音図書貸出件数	2,800タイトル	3,423タイトル	3,332タイトル (前年度比97.3%)
	サピエ図書館(※)ダウンロード数	—	1,183件	1,287件 (前年度比108.7%)
来館困難者へのサービス	郵送貸出	—	199冊	176冊 (前年度比88.4%)
聴覚障がい者サービス	手話通訳の手配 (希望される場合)	—	2回	2回 (前年度比100%)
障がい児サービス	資料の充実 (さわる絵本の所蔵数)	経年比増	13点	13点 (前年度比100%)

(※)サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館

全国の点字図書館や公共図書館が作成した本の点字データや音声データを集積し、視覚障がい者などの方々がパソコンや携帯電話でダウンロードすることにより利用できるようになっている。また全国の図書館も登録することによって、資料のデータを利用することができる。

取組に対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価

A

[成果]録音図書の貸出やサピエ図書館のダウンロード数については、コロナ禍においても非
来館型サービスとして前年度と同様のサービスをご利用いただきました。

[課題]対面朗読については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施時の密を避ける
ため、通常に対面朗読室ではなく広い部屋を確保し、可能な限り実施しました。
今後は、オンライン会議システム等を活用した、非対面での実施が課題です。

【図書館協議会の評価】



- ・コロナ禍でも出来ることを頑張っていると思います。
- ・対面朗読について、複数の部屋の確保などの対応ができる図書館からオンライン会議システムを利用したサービスを早く構築するようお願いいたします。府立図書館など実施している図書館を参考にすすめて欲しいと思います。
- ・障害のある方に「本」からの情報を伝えるという点では充実していると思いますが、果たしてその方は自分で図書館にて自由に本を選べるのでしょうか。車椅子で書架と書架の間の移動は出来るのでしょうか。

取組4 特色あるサービス

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R 元	R2
ビジネス支援サービス	関連施設との連携事業	1	1	1 (前年度比 100%)
多文化サービス	多言語による読み聞かせ等の行事の実施	2 回	3 回	— (※)
	外国語資料所蔵数	経年比増	5,900 冊	6,015 冊 (前年度比 101.9%)
健康・医療情報サービス	関連講座の実施	実施	2 回	1 回 (前年度比 50%)
地域経済への貢献	実施事業数 (広告事業)	5 件	4 件	3 件 (前年度比 75%)

(※)多言語による読み聞かせの行事については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし。

取組に対する

【図書館の自己評価】

<p>図書館の自己評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
--

[成果]コロナ禍の中ではありましたが、各目標値について、関連施設等のご協力により、一定の活動を維持することができました。

[課題]ビジネス支援サービス、健康・医療情報サービスについて、コロナ禍の中、積極的な取り組みはできませんでした。

【図書館協議会の評価】

<p>協議会の評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
--

- ・市報すいた令和3年10月号では「魅力がたくさん！市立図書館」として特集が生まれ、各図書館の特色も簡単にまとめられていてよく分かりました。このような図書館のアピールをどんどんやっていただきたいと思います。
- ・コロナ禍において、情報が混乱し市民は翻弄されていました。ヘルスリテラシーについて市民の要望はあると思うので、図書館として重点的に取り組んでください。

基本目標 3

子育て支援や学校の連携を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。（「子ども読書活動推進計画(改訂)」の推進）

取組1 子どもへの読書活動支援の充実

事業名	目標達成の指標		実績	
	指標	目標値	H31/R元	R2
子育て支援サービス	ブックスタートのひろば、おひぎで絵本等参加人数	23,000人	12,663人	401人 (前年度比 3.1%)
学校連携	図書館見学等参加人数	2,300人	1,228人	619人 (前年度比 50.4%)
	団体貸出冊数	—	10,241冊	10,148冊 (前年度比 99.1%)
講座・講演会等の開催	児童文学に係る講座・講演会等の参加人数	1700人	355人	89人 (前年度比 25.1%)
吹田市出前講座その他講師派遣	児童生徒の読書活動の振興を目的とする出前講座、講師派遣事業参加人数	430人	876人	—(※)

(※)出前講座等講師派遣等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施なし。

取組に対する

【図書館の自己評価】

図書館の自己評価 B

[成果1]新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中学生の職業体験は0件、小学生の図書館見学も大幅に数値が減りましたが、学校への団体貸出については、ほぼ前年度

並みの実績がありました。

[成果2]ガンバ大阪との連携企画「読書でガンバ!」の一環として、より図書館に親しみを持ってもらうことを目的として、小学生を対象に図書館借出カードに貼る「ガンバボーイとすいたん」のシールを作成しました。

[課題1]ブックスタートのひろば、おひぎで絵本については、従来はボランティア・グループ「りんご」「こぐま」に依頼して実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を大幅に減らし、可能な範囲で職員が実施しました。

講座・講演会も合わせて、今後、直接本の魅力に触れる良さを大切にしながらも、感染拡大防止策の徹底と並行した行事の在り方の検討が課題です。

[課題2]学校との連携について、職員同士の交流や読書活動支援者への技術的サポートを引き続き実施します。貸出については、令和3年9月から開始する学校連絡便の継続が課題です。

【図書館協議会の評価】

協議会の評価

B

- ・学校の授業で図書館見学ができない状況が続いたので、その参加人数が減ったのは仕方ないところだと思いますが、各校区の近くの図書館の活動の様子を子供向けに編集した動画があったりすると子供の意欲向上につながると思います。
- ・コロナ禍における行事等の開催は感染防止を考えると難しいですが、人数制限をせざるを得ないのであれば回数を増やすなど工夫をしてほしいと思います。
- ・読書の習慣も大事だと思いますが、声を出して本を読む習慣も大事だと思います。活字を目で追いそれを声に出す、情景を思い描く、この訓練も大切ではないでしょうか。受け身ではなく子供たち自身への「朗読」の訓練の機会が増えるといいと思います。他人の話すことに耳を傾ける機会になると思います。
- ・このコロナの時期に、人数制限はありましたが児童文学等の講座など開催され、その他子供の本の活動をしている人たちにも希望を与えてくださったと思います。成果としては数字の判断だけではなく、人の声のようなものも入れて評価できたらと思いました。家庭文庫など開催出来ない中、図書館の活動は力になっています。
- ・吹田の全ての子供たちの読書環境をよくするためには、学校図書館への支援が欠かせないと思います。公立図書館として読書活動支援者へ研修をさらに積極的にしていくなど、今

までより踏み込んだことをしていかないと、吹田の図書館全体を充実させることにならない
と思います。

- ・教育の情報化、デジタル化が進み、学校図書館も過渡期にあります。読書活動ということで、やる学校とやらない学校とで、これから差ができるところです。図書館としてどのように支援していくか、重要な課題だと思います。

	令和2年度 図書館事業評価一覧	自己評価	協議会評価
基本目標 1	地域の情報拠点として、いつでも、どこでも、だれにでも、役立つ図書館サービスを目指します。		
取組	1 図書館施設及びサービス網の整備	A	A
	2 利用促進	B	B
	3 資料と情報の提供	B	B
基本目標 2	生涯学習を支援して、仕事や暮らしを豊かにする図書館サービスを目指します。		
取組	1 施設や地域との連携 ※	(D)	(C)
	2 自己実現の援助 ※	(C)	(C)
	3 図書館利用に障がいのある人へのサービスの充実	A	A
	4 特色あるサービス	B	B
基本目標 3	子育てや学校の支援を通して、子どもの健やかな成長に役立つ図書館サービスを目指します。		
取組	1 子供への読書活動支援の充実	B	B
総合評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <p>令和2年度、中央図書館は改修工事を終了し、リニューアル開館をしました。また、岸部地域で健都ライブラリーが開館したことにより、図書館網の整備が完了し、図書館利用不便地域がほぼ解消しました。北千里小学校跡地複合施設整備事業でも令和4年(2022年)11月供用開始に向けて準備が進んでいます。</p> <p>しかしながら、これまで継続的に行ってきたサービスについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館やサービスの制限が続いたことにより、あらゆる項目で目標値を大きく下回りました。このような長期に渡るサービス制限下において</p> <p>の情報や資料の提供、行事等の在り方が引き続き課題となっています。あわせて次期図書館基本構想の策定に向けて目標値の見直し、市民の役に立つ図書館サービスの再検討を進めていきます。</p>	B	B

	<p>【協議会の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により、取組が制約され十分な成果が得られなかったのは残念ではありますが、ハード面は計画通りに進められたことは評価されると思います。 ・今後は、吹田市の DX 推進計画に合わせて、図書館の DX を積極的に推進していただくことを望みます。また、SNS を活用した広報活動に重点を置き、市民の情報拠点としての認知度アップに努めていただきたいと思います。 ・全体的にみて、吹田市立図書館のサービスは、高い状態で維持されていると考えています。特に、広域利用の促進や出前講座の実施など、他自治体・機関等との連携について、数値的にも内容的にも成果が上がっていると考えます。 ・COVID-19 のような感染症の流行は今後も起こりうるので、この間の経験をもとによりよい対応策を考えてほしいです。未経験のため、試行錯誤しながらできるサービスを提供していたと思うが、市民への情報提供の面で、休館については、より慎重にすべきだったのではないかと思います。 ・全体的に目標値で考えると厳しい評価になってしまいます。コロナ禍で中止されることもあるので評価以上に頑張っていると思います。 ・オンラインについては、これからどんどん増えていくと思います。今後の課題として取り組んでいただきたいです。 ・図書館が長期にわたり閉鎖されたという経験は、図書館利用者としても初めての事でした。その間は社会への扉が閉められたようで実に心もとなく感じられました。図書館の存在が生活をしていく中でとても大切なものだと思います。 ・刻々と変化してゆく社会の中で、図書館の役割も少しずつ変わっていかねばならないと思いますが「基本」を踏まえて頑張りたいと思います。 ・このコロナ禍のなかウイルス感染拡大防止のため平常の業務以外の事柄が増え、図書館は大変だったと思 		
--	---	--	--

	<p>います。これらの時期に図書館で起こったことや行われたことについての反省や検証を行い(今後また同じような事態が起きないとも限りません)未来への備えをしていただきたいと思います。</p> <p>・評価報告書については、目標と実績を評価報告書に併記することで、客観的で妥当な評価であることが市民にも一目瞭然であるようにすべきかと思ひます。</p>		
--	---	--	--

※の項目の評価については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいため、仮評価として括弧付きとしました。